２０１５年７月１日(毎月１８回1・3・5・6・7・9の日)　通巻 6795 号　1983年7月19日 第3種郵便物許可　頒価50円（1）

第32号

SSTK

さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011 川口市元郷1-10-13
電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草
〒336-0015 さいたま市南区太田窪3501-2　電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301
HP http://www.sakuraso.net/　E-mail info@sakuraso.net

青梅いただきました。

先日、社会福祉法人浦和福祉会スマイルハウスの仲矢様よりお声を掛けて頂き、埼玉県越生町にあります梅農家山口様より梅の実をデイセンターさくら草30㎏、デイセンターアトム30㎏、計60㎏を頂きました。

この頂いた梅の実は利用者さんと職員が力を合わせ種やへたを取り除き、さらに美味しい梅になる様、仕込みという名のおまじないを掛けました。梅ジュースやカリカリ梅、ピクルスなど様々な姿に変身する予定でいます。部屋中に包まれる初恋の様な梅のいい香りに誘われて、ある利用者さんが職員の所に来て『これは何？』『これは何になるの？』など質問の嵐。利用者さん職員共々、今から完成が楽しみです。

お声を掛けて下さった仲矢様、梅を頂きました山口様、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

イオンモール北戸田店様より“イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン”たくさんの品物を寄贈していただきました

「やっぱり三脚があると、写真を撮る雰囲気が良くなるね！」アトム班では、毎月１日を『写真の日』として活動しています。ただみんなで一緒に写真を撮るだけですが、班の仲間が協力する姿はすてきです。

これからこのカメラの三脚を使って、もっと良い写真が撮れるように楽しんでいきます。

～この三脚の他にも調理バサミや食洗機、かき氷器など他にもたくさんの生活が便利に楽しくなる品物を寄贈していただきました。ありがとうございました。（野島）

グループホーム「てん ハウス ぐりん」開所式に、大勢の方にご臨席を賜り感謝申し上げます。お陰様をもちまして、無事に事業を開始できました。今後も皆様のご期待に沿うべく精励して参ります。書中にて、略儀ながらお礼申し上げます。

お知らせ：『さくら草だより』はデイ利用者が折り～封入までを担当し提供しております。　デイセンター

２０１５年７月１日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6795 号　　1983 年７月 19 日　第３種郵便物許可　頒価 50 円(２)

日本財団助成　車両購入のお知らせ

日本財団様より助成をいただき、車両(ＨＩＪＥＴ)を購入いたしました。

キッズさくら草の送迎で使用しております。キッズさくら草はさいたま市初の重症心身障害児、放課後等児童デイサービスです。

重度障がい児の地域生活を支えるために、今後とも変わらぬ支援をよろしくお願いします。

日本財団様に心よりお礼申し上げます。

おまつり

2015年10月3日(土)
11:00～15:00
場所:デイセンター　さくら草
コスモス　＆　アトム
さいたま市南区太田窪3501－2
（JR京浜東北線・武蔵野線
南浦和駅下車
～国際興業バス　円正寺下車　歩3分）
模擬店・バザーなど予定
雨天決行

新入職員紹介

デイセンターアトム
コスモス班　平田　祐治

４月からコスモス班にお世話になっています、平田祐治です。好きなことは運動、音楽、車、ドライブです。何か失敗や自分の直した方がいい所がありましたらご指導のほうお願いします。目標は誰もが任せられる支援者になることです。これからよろしくお願いします。

デイセンターアトム
コスモス班　沼澤　美和

はじめまして。４月からコスモス班でお世話になっています、沼澤美和子です。今年３月に大学を卒業して、社会人１年目です。至らない点が多くご迷惑おかけしていますが、みなさんの笑顔に囲まれて毎日楽しく過ごしています。これからよろしくお願いいたします。

＜活動報告＞　（２０１５年　４月　１日～２０１５年　６月　３０日）

４月　１日　アトム班お花見
　24 日　チョコクロワッサンまつり(デイセンターアトム)
　　輪投げまつり（あんくじ）
５月　11 日～29 日　教員介護等体験実習
　（デイセンターさくら草　２名、アトム　３名）
　15 日　安全委員会会議
５月 26 日　てんハウスぐりん　開所式
　28 日　安全運転管理者講習　（大口）
　29 日　バーベキューまつり(デイセンターアトム)
　　バスケットボールまつり（あんくじ）
６月 4～5 日　サービス管理責任者研修（渡邉、佐藤剛）
　24 日　健康診断(デイセンターさくら草・アトム)

健康診断―年２回　ヘアカット（理・美容）　通院介助　体重測定―毎月　誕生会―各誕生月　　音楽療法―月１回
アロマセラピー―月１回　みんなのアトリエ―月２回　　静的弛緩誘導法訓練会参加―月１回　陶芸―月２回
家族会―月１回　さくら草せっけん教室－月１回

２０１５年７月１日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6795 号　　1983 年 7 月 19 日　第３種郵便物許可　頒価 50 円(3)

サポートさくら草

病院に行くのはなぜ？

それはもちろん病気だから、なんです。

が！それにプラスして、万が一の時受け入れてくれる病院を確保しておきましょう！というお話。

サポートを利用する皆さんは多少の差はあれど、病院とは無縁でいられない。お薬をもらうのはこのクリニック。訓練するのはあの病院。検査をするのはこの病院と、多くの医療機関にかかっている方も多いでしょう。

では質問。

万が一の時、救急車搬送で受け入れてもらえそうな病院はどこですか？その病院で診察してもらったことはありますか？緊急時の対応について、そこの医師と相談済ですか？

診てもらえる病院が少ない、なかなか受け入れてもらえない、というのは障害者医療でよく聞く悩み。

産まれた時から診てもらっている病院なら、経過も知ってもらえているし、とても安心。でもそれが自宅から遠かったら・・・少し不安ではありませんか？

しかも小児専門病院は、該当年齢を過ぎると別の病院を探さねばなりません。

時間と容体にゆとりがあれば、遠い病院でも連れていけます。でも本当に本当の切迫した状態とは、一分一秒を争うもの。救急車で搬送されるほどの切迫した状況なんて、たぶん人生に一回あるか？ないか？かもしれません。でも、いざというその時に後悔しないため、ある程度の規模があり、検査や手術にも対応できる入院可能な病院と、ぜひご縁を保っていてください。

なるべくなら自宅や生活圏から、そう遠くない距離の病院で。

常日頃からそういう病院にかかることにより、その方の普段の生活スタイルを医師に知ってもらえます。病気で大きく体調を崩した時、普段の状況を知っていると変化がわかり、「目指す回復の形」を理解してもらいやすいメリットもあります。

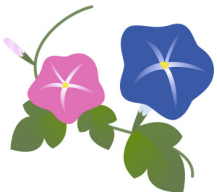
サポートでも導入中の「緊急時医療情報パス」もその一環です。初めてその方をみる救急隊の方にも迅速な判断をしてもらえるようになります。何をどう準備しても、充足することは、きっとない。ですが、元気な時に出来る限りの準備を！

「いつか」の「万が一」に最善を尽くせるよう、考えられることは考え尽くしていきたいですね。

＜サポートさくら草　佐々木千恵＞

２０１５年７月１日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6795 号　　1983 年７月 19 日　第３種郵便物許可　頒価 50 円(４)

サポートゆず



～ボッチャの大会にて　桜澤さんと～

ゆずの利用者様のなかには
長くご活用されているかたも多く、
いらっしゃいます。
小学校～中学校あるいは高校～卒業と
通う場所やその目的は移り変わっても、
変わらずゆずを活用してくれていて、
私たち
にも変わらぬ笑顔と、そうして、成長されてゆく姿をみせてくれています。

～ボッチャ大会で岡本君と～

　そんな素敵な先輩たちがたくさんいて、
後輩たちのよき目標となっています。
　大林雄大さんもそんな先輩のひとりです。
ほんの １ 年前まで、蓮田特別支援学校のバスポイントにおむかえにいっていました。学校時代から、
後輩たちによく声をかけてくれ、とくに同じ学校の岡本君とは仲良しで、時にアドバイスもしたり、よき兄貴といったところです。
　支援者をからかったりと、おちゃめな一面もありますが、利用者さん皆にまんべんなく声をかけてくれていたり、どの「支援者」の冗談にもまんべんなく反応してくれたりと、
気遣いのある雄大さんです。

そんな雄大さんは、いまは
「どんまい」さんで仕事をしています。
お給料をためて携帯電話を買いたいと
話してくれていました。
がんばって、先輩！！

２０１５年７月１日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6795 号　　1983 年７月 19 日　第３種郵便物許可　頒価 50 円(５)

南区障害者生活支援センターあみ～ご

☆南区社会資源マップ☆　今回、南区にある施設等をご紹介します♪

① のびろ作業所（就労継続支援Ｂ型）
② デイセンターさくら草（生活介護）
③ 株式会社ハマウラ福祉工場（就労継続支援Ａ型）
④ しらはた作業所（平成 27 年７月～就労継続支援Ｂ型）
⑤ フレンズＮＥＴ（就労移行支援・就労継続支援Ｂ型）
⑥ さんご（就労移行支援・就労継続支援Ｂ型）
⑦ あけぼの作業所（就労継続支援Ｂ型）
⑧ キャップの貯金箱（就労移行支援）
⑨ デイセンターアトム（生活介護）
⑩ そのまんま（生活介護）
⑪ 埼玉県障がい者共同作業所（施設入所支援、就労移行支援、就労継続支援Ｂ型）
1 南区役所
2 南区障害者生活支援センター社協ひまわり
☆ 南区障害者生活支援センターあみ～ご

（平成 27 年６月現在。平成 26 年度さいたま市の障害者福祉ガイドブック参照。）

あみ～ごではたくさんの施設や事業所の方々と連携しながら、支援を行っています。

南区障害者生活支援センター　あみ～ご
電話：048 - 866 - 5098　ＦＡＸ：048 - 866 - 5128　相談受付：平日 9:00～17:00

社会福祉法人さくら草　平成 26 年度決算書

資金収支計算書　　単位：円

勘定科目	予算	決算	差異
就労支援事業収入計(1)	2,452,800	2,492,746	−39,946
就労支援事業支出計(2)	2,452,800	2,492,746	−39,946
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)	0	0	0
福祉事業収入計(4)	756,021,442	795,271,645	−39,250,203
福祉事業支出計(5)	707,086,580	731,675,389	−24,588,809
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)−(5)	48,934,862	63,596,256	−14,661,394
施設整備等収入計(7)	111,948,787	105,439,787	6,509,000
施設整備等支出計(8)	183,750,476	181,718,536	2,031,940
施設整備等資金収支差額(9)=(7)−(8)	−71,801,689	−76,278,749	4,477,060
財務収入計(10)	90,000,000	90,000,000	0
財務支出計(11)	1,680,000	81,680,000	−80,000,000
財務活動資金収支差額(12)=(10)−(11)	88,320,000	8,320,000	80,000,000
予備費(13)	0	0	0
当期資金収支差額合計(14=3+6+9+12−13)	65,453,173	−4,362,493	69,815,666
前期末支払資金残高(15)	212,229,465	212,229,465	0
当期末支払資金残高(14)+(15)	277,682,638	207,866,972	69,815,666

事業活動収支計算書　　単位：円

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業収入計(1)	2,492,746	2,403,619	89,127
就労支援事業支出計(2)	2,489,804	2,217,159	272,645
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)−(2)	2,942	186,460	−183,518
福祉事業収入計(4)	668,826,248	570,644,460	98,181,788
福祉事業支出計(5)	683,094,868	556,161,563	126,933,305
福祉事業活動収支差額(6)=(4)−(5)	−14,268,620	14,482,897	−28,751,517
事業活動外収入計(7)	184,094,636	40,508,723	143,585,913
事業活動外支出計(8)	123,531,791	14,562,254	108,969,537
事業活動外収支差額(9)=(7)−(8)	60,562,845	25,946,469	34,616,376
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	46,297,167	40,615,826	5,681,341
特別収入計(11)	140,915,000	11,218,980	129,696,020
特別支出計(12)	50,685,000	10,300,000	40,385,000
特別収支額(13)=(11)−(12)	90,230,000	918,980	89,311,020
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	136,527,167	41,534,806	94,992,361
前期繰越活動収支差額(15)	222,560,982	179,833,676	42,727,306
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	359,088,149	221,368,482	137,719,667
基本金取崩額(17)	0	0	0
基本金組入額(18)	0	0	0
その他の積立金取崩額(19)	50,000,000	1,192,500	48,807,500
その他の積立金積立額(20)	80,000,000	0	80,000,000
次期繰越活動収支差額(21=16+17−18+19−20)	329,088,149	222,560,982	106,527,167

貸借対照表　　単位：円

	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	483,130,840	424,591,579	58,539,261	流動負債	285,810,613	221,821,754	63,988,859
固定資産	528,526,153	301,978,990	226,547,163	固定負債	84,972,040	42,724,680	42,247,360
資産の部合計	1,011,656,993	726,570,569	285,086,424	負債の部合計	370,782,653	264,546,434	106,236,219
				基本金	63,978,900	63,978,900	0
				国庫補助金等特別積立金	165,127,791	122,804,753	42,323,038
				その他の積立金	82,679,500	52,679,500	30,000,000
				次期繰越活動収支差額	329,088,149	222,560,982	106,527,167
				純資産の部合計	640,874,340	462,024,135	178,850,205
				負債及び純資産の部合計	1,011,656,993	726,570,569	285,086,424

「どんなに重い障がいがあっても豊かな地域生活を送れるように」と、平成 26 年度も施設整備および人手（人件費率 75%）を掛けて地域福祉向上に努めた。平成 26 年度に開設した「アトム」は、「生活介護」と「放課後等デイサービス事業（重症心身障害児が対象）」に特別支援学校卒業者及び就学児を受けとめた。また医療的ケアが必要な方を含む重度心身障がい者対応のグループホーム整備「てんハウスぐりん」を建設し新たに社会福祉事業に投資した。もっとも土地の寄贈並びに国庫補助金が得られたことで実現することができた。独立行政法人福祉医療機構からの借り入れもあり、それに依る資産増である。公益事業（生活サポート事業及び有償運送）により家族の病気等緊急時の対応や多くの移動困難者への支援を行った。　「南区障がい者生活支援センターあみ～ごで」は精神対応の補助金が削られたが、法人から１千万円を超える人件費を補てんして、前年度を上回る相談を受けた。平成 27 年度は三障害対応に戻り、更に利用者支援に努める。また「指定相談支援事業あんず」を昨年９月に開設し、利用者のサービス等利用計画作成を進めた。計画相談は、人件費持ち出しで実施している社会貢献活動そのものである。　平成 27 年度も、引き続き利用者の地域生活を支えるため総合的な社会資源創りに投資するなど取り組んでいく。（山本）

編集後記

みなさん梅の花言葉をご存じですか？『上品な美しさ』『忍耐』『澄んだ心』など私に足りていない要素ばかりで、調べていて何とも言えない気持ちになりました。　(F)